

第175回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1〔丸数字は予想配点、合計60点〕

設問1

- 問1 1セットの貢献利益 円 ⑤
- 問2 損益分岐点販売量 A製品 個
B製品 個 【完答で⑦点】
- 問3 損益分岐点売上高 円 ⑦
- 問4 安全余裕率 % ⑦
- 問5 営業レバレッジ度 ⑦
- 問6 売上高営業利益率 % ⑦

設問2

- 問1 営業利益が最大となる販売量 A製品 個
B製品 個 【完答で⑥点】
- 問2 営業利益が最大となる場合の各製品の貢献利益 A製品 円
B製品 円
【完答で⑥点】
- 問3 営業レバレッジ度 ⑤
- 問4 営業利益が最大となる場合の売上高営業利益率 % ⑤

問題2〔丸数字は予想配点、合計40点〕

	○または×	×の場合、その理由
1	○ ④	
2	○ ④	
3	× ②	市場占有率差異は1,025,150円(不利)、市場総需要量差異は459,550円(有利)である。 ④
4	× ②	加重平均資本コスト率は3.6%となる。 ④
5	○ ④	
6	× ②	プロダクト・アウト志向でなく、マーケット・イン志向を目指す。 ④
7	× ②	バックフラッシュ・コストイングでは仕掛品勘定を設けない。 ④
8	○ ④	